

令和元年度事業報告書

公益社団法人 宮城県航空協会

自：平成 31 年 4 月 1 日

至：令和 2 年 3 月 31 日

総 括

令和元年度は当協会にとって大きな動きのあった年となりました。

一つ目は、活動場所の一つであった霞目飛行場からの撤退です。飛行場の借用面積及び地代が見直された事で使用料が高騰し、霞目飛行場での飛行活動及び格納庫を維持していく事が困難と判断、撤退を決意しました。9月から撤収作業を開始、霞目格納庫内の機材は角田事務所に新設した作業場(テントハウス)に移動し、11月15日に作業完了しました。戦前、通信省乗員養成所時代から戦後の航空禁止期間をまたいで80年以上にわたり続いてきた霞目におけるグライダー活動に幕を下ろしました。

二つ目は曳航方法の変更です。曳航機は霞目格納庫に保管していましたが、前述の霞目飛行場からの撤退に伴い、保管場所を失いました。滑空機は分解してトレーラーに収納し堤外に運搬が可能ですが、曳航機は分解が出来ず、河川増水時の避難が困難です。また、維持費用が会計的に大きな負担となっていることもあり、理事会で議論を重ねた結果、曳航機を手放すこととなりました。しばらくはウインチ曳航を中心とした活動を行っていきます。

三つ目は災害による飛行自粛です。10月12日に上陸した台風19号により、角田市及び近隣地域は甚大な被害を受けました。角田滑空場は阿武隈川増水により滑走路が水没。大量の泥が堆積しましたが、幸い機材等への被害は軽微でした。しかしながら救難、報道の航空機が多数飛び交い、自衛隊による暫定的な管制周波数も設置されたことから約1か月にわたり飛行を自粛。11月16日から活動を再開しました。

そして、令和2年3月、新型コロナウイルス COVID-19の流行に対する感染防止のため、再び飛行自粛を行い、年度が変わった4月も続いています。

しかし、明るい話題もありました。

オーバーホールが完了したモーターグライダー、タンデムファルケ JA2178 ですが、協会の飛行活動に復帰しました。早速ライセンスによるジョイフライト、限定変更実地試験に向けた飛行訓練、ウェーブ体験飛行等に活躍しています。

毎年、年末年始は連続フライトを実施していますが、令和元度は角田ウェーブキャンプと命名し、外部にも参加者を募りました。その結果、前述の台風19号で大きな被害を受け活動が出来なくなっている葦崎市航空協会のユースメンバー4名、北海道の滝川スカイスports振興協会から1名の参加がありました。期間中は気象条件に恵まれ、ウインチ曳航で13回、タンデムファルケで11回、計24回ものウェーブフライトを実施、金章獲得高度3,000mや銀章滞空時間5時間といった滑空記録を達成するなど大きな成果を得る事が出来ました。

このように大きな変化があった令和元年度に続き、2年度も大変厳しい状況からのスタートとなっておりますが、皆様の知恵とご協力をいただきながら乗り切っていきたいと思っております。

事業の概要

[公益事業 1]

(1) 定款第4条第1号の事業（航空機の操縦訓練とその関連事業）

1-1. グライダーによる練習会を主に土曜、日曜及び祝祭日に行った。

[宮城県航空協会の部]

霞目飛行場： 22日 格納庫での機体整備で使用、事務所・格納庫撤収作業

角田滑空場： 104日

延べ参加者人数：1,254名

機 種	飛行時間 (時間+分)	飛行回数	機 種 名
JA30HT	0+18	9回	曳航機 モール
JA2326	101+50	563回	複座 ASK21
JA2554	39+01	209回	複座 ツインIII
JA2317	21+53	63回	単座 ピラタス B4
JA2325	40+57	112回	単座 ピラタス B4
JA2178	71+48	116回	複座 SF28A フェルケ
JA2458	92+36	27回	単座 Discus bT
JA2186	1+15	7回	単座 クラブリベレ
JA21XG	12+29	48回	単座 LS-4a
合 計	382+07	1154回	

[団体会員東北大学航空部の部]

角田滑空場活動：64日 延べ722人参加			角田滑空場以外の活動：5日	
機 種	飛行時間 (時間+分)	飛行回数	飛行時間 (時間+分)	飛行回数
JA40AK	38+53	224回	4+01	10回
JA01VT	14+17	30回		
JA2173	87+14	676回		
JA2186	42+49	163回	5+07	13回
合 計	183+13	1093回	9+08	23回

競技会参加結果：① 学生航空連盟 関東大会 令和元年10月8日～10日

妻沼滑空場、個人4位(味村)、本戦へ

② 七大学総合体育大会 令和2年2月27日～3月4日(予定)

関宿滑空場、3日目以降新型コロナウイルスのため大会不成立

1-2. 訓練の成果

エンジンの無いグライダーの訓練成果の1つに滞空時間やクロスカントリーの野外飛行があげられるが、令和元年度の滞空時間の内訳は

時 間	回数 (航空協会)	回数 (東北大)	合 計
1時間以上	63回	9回	72回
2時間以上	34回	5回	39回
3時間以上	24回	3回	27回
4時間以上	13回	0回	13回
5時間以上	10回	2回	12回

令和元年度の距離飛行の内訳は

日 時	使用機体	飛行距離(km)	備 考
2019/4/13	JA2458	254.89	
2019/4/14	JA2458	100.28	
2019/4/20	JA2458	87.83	
2019/4/20	JA2317	59.5	
2019/4/28	JA2458	281.22	
2019/4/28	JA2317	54.69	
2019/4/29	JA2458	262.07	
2019/5/2	JA2458	559.97	
2019/5/3	JA2458	274.76	
2019/5/19	JA2458	69.74	
2019/8/17	JA2458	165.63	
2019/12/8	JA2458	346.83	
2019/12/28	JA2458	364.72	
2019/12/28	JA2186	59.5	
2019/12/29	JA2178	55.2	
2020/1/1	JA2458	516.34	
2020/1/2	JA2458	437.47	
2020/1/2	JA21XG	115.5	
2020/1/2	JA2186	57.15	
2020/1/2	JA2326	53.78	
2020/1/4	JA2458	459.72	
2020/1/4	JA2326	61.32	
2020/1/4	JA2325	57.47	
2020/1/4	JA2554	53.34	
2020/1/4	JA2178	69.41	
2020/1/25	JA2325	62.26	
2020/1/25	JA2458	67.48	
2020/1/26	JA2458	237.3	
2020/2/1	JA2326	65.7	
2020/2/2	JA2458	387.62	
2020/2/2	JA2458	387.62	
2020/2/9	JA2458	113.56	
2020/2/24	JA2458	324.57	
2020/3/1	JA2325	53.31	
合 計		6190.13Km	

注：OLCとは：オン・ライン・コンテストの略。インターネット上で毎日記録のコンテストを行っているサイト。

1-3. 特定技能審査の実施 滑空機 社会人 12名 東北大 4名

1-4. 操縦教育証明実地試験の受験 なし

自家用技能証明実地試験の受験 宮城県航空協会 3名合格 柴田、矢野、川原

東北大学航空部 5名合格 小西、水島、味村、小林、八巻

(2) 定款第4条第2号の事業（航空機等展示、体験飛行、展示飛行による航空に関する知識、特に航空スポーツの知識の普及事業）

2-1 子供グライダー教室

スカイネット角田、スポコム角田と協力し子供グライダー教室を5回計画し、5回実施

第1回 開催日時：令和元年 7月 15日

開催場所：角田滑空場

参加人数：子供7名 保護者6名 スタッフ 3名

教室内容：航空教室およびウィンチ曳航による体験飛行（JA2326, JA2554, JA2173）

第2回 開催日時：令和元年 8月 11日

開催場所：角田滑空場

参加人数：子供6名 保護者6名 スタッフ 2名

教室内容：航空教室およびウィンチ曳航による体験飛行

(JA2326,JA2554,JA40AK,JA2173)

第3回 開催日時：令和元年 8月 17日

開催場所：角田滑空場

参加人数：子供6名 保護者4名 スタッフ 1名

教室内容：航空教室およびウィンチ曳航による体験飛行(JA2326,JA2554,JA40AK)

第4回 開催日時：令和元年 9月 15日

開催場所：角田滑空場

参加人数：子供9名 保護者9名 スタッフ 3名

教室内容：ウィンチ曳航による体験飛行（JA2326,JA2554,JA40AK,JA2173）

第5回 開催日時：令和元年 12月 15日（台風19号の影響により日程変更）

開催場所：角田滑空場

参加人数：子供9名 保護者8名 スタッフ 2名

教室内容：ウィンチ曳航による体験飛行（JA2326,JA2554,JA2173）

2-2 地元住民有志の体験搭乗会

角田市佐倉8区の住民を招き、体験飛行を行う予定だったが台風19号の影響により中止

2-3 慶應義塾大学付属高校航空部合宿受け入れ

慶應義塾大学付属高校航空部の合宿を受け入れた

開催日時：令和元年7月13日～15日

参加人数：9名(監督1名 部員8名)

2-4NPO 法人葦崎航空協会ユース会員受け入れ

年末年始に開催した連続フライトにて、台風19号による被災で飛行が不可能となっている葦崎市航空協会から4名のユース会員を受け入れた

開催日時：令和元年12月28日～2年1月4日

参加人数：4名

2-5 通常訓練時に角田滑空場の来場見学者にグライダーを説明し地上における体験搭乗を行った。

また、希望者には体験飛行を提供した。

開催日： 通常訓練時随時 86日

訪問見学者：356名がグライダーの説明を聞きその内117名が体験飛行を行った。

その他阿武隈川堤防からの見学者多数あり。

(3) 軽飛行機、グライダー、モーターグライダーを使用した地上展示、地上搭乗体験及びデモフライト

3-1 角田市「宇宙っ子まつり」

スカイネット角田と協力し角田市が主催する「宇宙っ子まつり」においてグライダー展示、紙飛行機大会、イラストコンテストを実施し開催を支援した。

開催日：令和元年5月5日

会場：角田市台山公園

展示機体：Discus bT(JA2458)

来場者数：約4,000人（主催者発表）グライダー展示会場に約500人

3-2 角田市「ファミリーサイクリングフェスティバル」参加者が角田滑空場へ来場見学会

開催日時：令和元年6月1日

参加者数：100名にJA2326, JA2317を教材にグライダーについて説明

3-3 「航空自衛隊松島基地航空祭」にグライダーを地上展示。コックピット体験、チラシを配布し活動のPRを実施した。

開催日時：令和元年8月25日

会場：航空自衛隊松島基地

展示機体：Discus bT(JA2458)

来場者数：約56,000人（主催者発表）グライダー展示会場に約500人

3-4 角田市「2019年度～JAXA☆角田市「宇宙の日」イベント角田宇宙センター一般公開」にグライダーを地上展示。コックピット体験、チラシを配布し活動のPRを実施した。

開催日時：令和元年9月8日

会場：JAXA角田宇宙センター

展示機体：Discus bT(JA2458)

来場者数：約3,000人（主催者発表）グライダー展示会場に約500人

(4) グライダー、モーターグライダーを使用した技量記章及び記録認定事業

4-1 日本滑空記章

A章 1名（航空協会） 2名（東北大）

B章 3名（航空協会） 1名（東北大）

C章 2名（航空協会） 2名（東北大）

銅章 1名（航空協会） 5名（東北大）

4-2 F A I 国際滑空記章

銀章高度 獲得 1,000m 航空協会 1名（平田）、東北大 2名（小西、味村）

銀賞時間 5時間 航空協会 2名（延山、川原）、東北大 2名（小西、味村）

金章高度 獲得 3,000m 航空協会 2名（平田、川原）

(5) 飛行技術研究とその成果の伝承事業

5-1 異常飛行姿勢からの回復操縦訓練：「錐もみ」状態に陥らないための訓練を中心に随時実施

5-2 ウェーブコンタクトフライト

最高到達高度	回数	備考
2,500m～3,000m	9回	航空協会6回、東北大3回
3,000m～4,000m	13回	要酸素飛行(航空協会)

4,000m～5,000m	3回	要酸素飛行(航空協会)
5,000m以上	7回	要酸素飛行(航空協会)
計	32回	

5-3 高高度飛行及び長距離飛行の飛行技術研究及びその伝承

令和元年5月2日、F.A.I 飛行記録 1000 kmに齋藤岳志会員が挑戦したが 559.97 kmで未達成
 令和2年1月1日、齋藤岳志会員がフリーフライトで 516.34 kmを飛行。OLC 日本1位
 令和2年1月4日、茂田慶一会員がフリーフライトで 459.72 kmを飛行。OLC 日本1位
 令和2年3月31日現在、齋藤岳志会員が OLC 獲得ポイント 1944.46P で日本1位をキープ

(6) 定款4条第5項の事業（その他この法人の目的達成に必要な事業）

6-1 東北大学ウインドノーツ（鳥人間コンテストに出場するクラブ）にテスト飛行のため 角田滑空場の使用許可を出した。

期間：令和元年6月10日～7月15日

使用実績

令和元年6月29日 走行試験2回、飛行試験10回

令和元年7月6日 走行試験1回

令和元年7月15日 走行試験2回、飛行試験6回

大会結果：令和元年7月27、28日 5位

6-2 第6回全国グライダークラブミーティングに参加

全国のグライダークラブの若い指導者が集まり、情報交換、指導のあり方、事故防止対策等を話し合う目的の会議

開催日：令和元年11月2日～3日

場所：クリエート浜松 501 会議室

主幹：中部日本航空連盟3支部（静岡支部、愛知支部、岐阜支部）合同

出席：15団体25名

議題：第1日目：各クラブからの近況報告 第2日目：協議

参加クラブ（参加者数）：

（公社）日本滑空協会（2）、（公社）滝川スカイスポーツ振興協会（SATA）（1）、
 （公社）宮城県航空協会（1）、（公社）日本グライダークラブ（2）、（公社）日本学生航空連盟（1）、NPO 法人関宿滑空場（1）、（公社）長野グライダー協会（2）、NPO 葦崎市航空協会（1）、（一社）静岡県航空協会（3）、大野グライダークラブ（1）、ヤマハソアリングクラブ（2）、中部日本航空連盟岐阜支部（2）、中部日本航空連盟愛知支部（2）、中部日本航空連盟静岡支部（2）、NPO 九州グライダースポーツ連盟（2）

6-3 航空安全講習会・滑空スポーツ講習会 2019 開催協力

日時：令和元年12月7日（土）10:30～17:00

場所：TKP 仙台東口ビジネスセンター

主催：公益社団法人日本滑空協会

共催：公益社団法人日本航空機操縦士協会、一般社団法人日本飛行連盟

NPO 法人 AOPA-JAPAN、NPO 法人全日本ヘリコプター協議会

後援：国土交通省航空局

参加人数：28人

演題1：「日本滑空記章規程類の変更について」

講師：(公社)日本滑空協会 甲賀大樹、佐志田 伸夫

演題 2；「航空安全講習会 最近の変更点ほか」

講師：(株)エーサップ 浦松 香津子

演題 3；「航空安全講習会 スピン事故防止のための訓練と環境」

講師：(公社)日本グライダークラブ 櫻井 玲子

6-4 第 26 回仙台空港気象懇話会に参加

日 時： 令和元年 7 月 18 日 (木) 15:00～16:30

場 所： 仙台空港旅客ターミナルビル 3 階有料待合室

主 催： 仙台航空測候所

演題 1；「気象台が発表する防災気象情報」

講師：村上 雅規

演題 2；「仙台空港から半径 10 km の雷の予報」

講師：佐々木 克也

当協会から 4 名参加

[公益事業 2]

1. 定款第 4 条第 4 号の事業（災害発生及び緊急時離発着場として提供できる関連施設の設置・運用と維持管理事業）

仙台空港の復興により仙台空港を基地とするヘリコプターを使用する航空会社は申請がなくなりました。しかし、災害や救急は何時発生するかわからないため、申請の有無にかかわらず着陸帯の草刈り等の整備維持管理を行った。

庶務の概要

1. 社員及び会員の移動

	()内は正社員数	入会者数	退会者数
平成 31 年 4 月 1 日時点の総会員数	76 名 (70 名)	5 名	2 名
令和 2 年 3 月 31 日時点の総会員数	79 名 (73 名)		

2. 定款第 13 条第 2 項による社員総会の開催

1. 日時 令和元年 6 月 8 日 (土) 午後 6 時～午後 7 時

2. 場所 仙台ガーデンパレス 4 階会議室

3. 出席人数 55 名 (うち委任状による出席者 29 名)

4. 議事録署名人 議長 滝川勉、代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、斎藤岳志、古川健二

5. 議題とその結果

(1)第 1 号議案 平成 30 年度事業報告書について

斎藤理事及び酒井理事より、平成 30 年度の事業報告について事業報告書に基づき説明が行われ、上記の説明の後、議長が質問、意見を求めたが特に発言がなく、承認を諮ったところ異議なく、原案どおり満場一致をもって承認可決された。

(2)第 2 号議案 平成 30 年度決算報告書について

木村代表理事より、平成 30 年度の決算内容について決算報告書（貸借対照表、正味財産増減計算書、その付属明細書、財産目録）に基づき詳細に説明が行われた。

さらに、片倉監事より、上記の書類は適正に処理されていることが認められたとの監査報告が行われた。

上記の説明の後、議長が質問、意見を求めたが特に発言がなく、承認を諮ったところ異議なく、原案どおり満場一致をもって承認可決された。

6. 報告事項等

(1) 平成 31 年度事業計画について

平成 30 年度第 4 回理事会（2 月 9 日）にて承認された事業計画について報告した。

(2) 平成 31 年度収支予算について

平成 30 年度第 4 回理事会（2 月 9 日）にて承認された収支予算について報告した。

(3) 霞目飛行場使用料の高騰について

平成 31 年度国有財産使用許可で、霞目飛行場の格納庫敷地料及び滑走路敷地使用料が高騰したことから、今後の対応について検討している旨報告した。

3. 定款第 31 条 2 項による理事会の開催

第 1 回 理事会

1. 日時 令和元年 5 月 11 日(土) 16 時 10 分～19 時 10 分

2. 場所 角田事務所

3. 出席者 代表理事 木村義彦

理事 酒井忠政、斎藤岳志、佐藤忠義、滝川勉、山田昌宏、菅原寿

監事 片倉修、神谷文夫

議事録署名人 代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、斎藤岳志 監事 片倉修、神谷文夫

4. 議題とその結果

議事の前に木村代表理事より資料に基づき前回理事会以降の職務執行状況について報告された。

(1) 第 1 号議案 平成 30 年度事業報告承認について

木村代表理事、斎藤理事及び酒井理事より、資料に基づき平成 30 年度事業報告について説明が行われ、その賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(2) 第 2 号議案 平成 30 年度決算報告承認、監査報告について

木村代表理事より、平成 30 年度の決算内容について決算報告書(貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録)に基づき説明が行われた。

さらに、片倉監事より、上記の書類は適正に処理されていることが認められたとの監査報告があった。

審議の後、その賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

なお、議長より 6 月 8 日の定時社員総会に付議する旨の説明があった。

(3) 第 3 号議案 令和元年度定時社員総会について

定款第 13 条 2 項では毎年 1 回 6 月に開催すると定めており、令和元年度総会を 6 月 8 日（土）18 時から仙台ガーデンパレスにて開催することが提案され承認された。また、当日 17 時から第 2 回理事会を行うことが承認された。

(4) 第 4 号議案 霞目格納庫借地等国有財産使用許可に基づく継続使用か撤退するかについて

東北防衛局から平成 31 年度の「国有財産使用許可書」が届き、使用許可物件が草地滑走路を滑走路及び誘導路に変更したことに伴い、新規扱いの許可となり格納庫敷地使用料が年額 114 万円、滑走路と誘導路の日額使用料が 17 万円となり費用負担が膨大

となる内容であり、そのための対応として霞目飛行場からの撤退を視野に角田事務所にパイプハウスを設置する等の整備を行うこととした。格納庫の撤去費用及びパイプハウス設置費用については補正予算を組んで次回以降の理事会で審議することとした。

(5) 第5号議案 斎藤誠さん及び富山晋さんの入会承認について

斎藤誠さんと富山晋さんから入会申込があり、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

第2回 理事会

1. 日時 令和元年6月8日(土) 午後5時00分～午後5時55分

2. 場所 仙台ガーデンパレス 4階会議室

3. 出席者 代表理事 木村義彦

理事 酒井忠政、斎藤岳志、滝川勉、山田昌宏、菅原寿、古川健二

監事 片倉修、神谷文夫

議事録署名人 代表理事 木村義彦 理事 酒井忠政、斎藤岳志、古川健二

監事 片倉修、神谷文夫

4. 議題とその結果

議事の前に木村代表理事より資料に基づき前回理事会以降の職務執行状況について報告された。

(1) 第1号議案 霞目飛行場の格納庫撤去に伴う補正予算について

木村代表理事より、格納庫撤去費用、角田事務所整備費用等を勘案した補正予算の説明が行われ、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

5. 報告事項

(1) JA2178 ファルケの修理状況について報告された。

第3回 理事会

1. 日時 令和元年8月10日(土) 18時00分～20時10分

2. 場所 角田事務所

3. 出席者 代表理事 木村義彦

理事 酒井忠政、斎藤岳志、佐藤忠義、滝川勉、山田昌宏、菅原寿

監事 片倉修

議事録署名人 代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、斎藤岳志、監事 片倉修

4. 議題とその結果

議事の前に木村代表理事より資料に基づき前回理事会以降の職務執行状況について報告された。

(1) 第1号議案 霞目からの撤退に伴う角田事務所の整備について

木村代表理事より、角田事務所北側の催芽室解体や除根、整地工事を行い、角パイプハウスを建設予定で数社から見積もりを取っている。ハウスは幅8～10m×奥行20m×高さ5.6mの大きさとなる予定であるとの説明が行われ、その賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

関連事項として、事務所東側の土地を太田茂さんから正式に借りるため地目を変更する必要があり角田市農業委員会へ変更申請した。8月23日現地調査予定、26日農業委員会の会議を経て宮城県へ送付され、9月20日頃許可されるかどうか通知される予定である。また、これらの費用に充当するため、「JA30HTのエンジン2000時間点検整備準備金」「霞目格納庫老朽化対策費用準備資金」の2つの準備積立資金及び「減価償却引当資産」の取り崩しを行う件について次回理事会に提案することについて説明された。

第4回 理事会

1. 日時 令和元年9月14日(土) 17時45分～20時00分
2. 場所 角田事務所
3. 出席者 代表理事 木村義彦
理事 酒井忠政、斎藤岳志、佐藤忠義、滝川勉、山田昌宏、菅原寿
監事 片倉修、神谷文夫
議事録署名人 代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、斎藤岳志、監事 片倉修、神谷文夫

4. 議題とその結果

議事の前に木村代表理事より資料に基づき前回理事会以降の職務執行状況について報告された。

(1) 第1号議案 霞目からの撤退に伴う諸作業について

酒井理事より、角田事務所北側の整備や霞目飛行場の格納庫撤去等についてスケジュールが説明され、その賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(2) 第2号議案 「JA30HTのエンジン2000時間点検整備準備金」「霞目格納庫老朽化対策費用備準備資金」「減価償却引当資産」の取り崩し承認について

木村代表理事より、角田事務所北側の整備及びテント倉庫建設、霞目格納庫の撤去等に充当するために、準備していた基金の取り崩しを行うことについて説明が行われ、その賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(3) 第3号議案 事務所北側の擁壁工事費見積承認について

木村代表理事より、角田事務所北側にテント倉庫を建設するにあたり10.8mのテント倉庫幅確保のための擁壁を設置する必要があることからその工事を㈱三鈴へ発注することについて説明が行われ、その賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(4) 第4号議案 事務所北側の排水桝及び雨水処理工事費見積承認について

木村代表理事より、角田事務所北側にテント倉庫を建設するにあたり既存の排水桝2個の移動及び雨水処理を行う必要があることからその工事を㈱三鈴へ発注することについて説明が行われ、その賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(5) 第5号議案 テント倉庫工事費見積承認について

木村代表理事より、霞目格納庫撤去に伴う代替え場所として角田事務所北側にテント倉庫を建設することについて㈱ケーエスに発注することについて説明が行われ、その賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

なお、霞目格納庫の窓をテント倉庫で使用するため、事前に撤去する取り組みについて説明された。

(6) 第6号議案 JA30HTを角田滑空場へフェリーバックすることに伴う航空保険加入について

木村代表理事より、大和根のJMGCにあるJA30HTの航空保険が9月2日で切れたため、角田へはトラックをチャーターして運搬しなければならず概算50万円ほどの費用がかかることがわかった。その為、今までかけていた保険内容を一部変更して保険金を安くしてフライトで角田へ戻すことについて説明が行われ、その賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

なお、保険金は94万円であり、山田理事がその費用を寄付してくれることとなった。

5. 報告事項

- (1) 今後の資金繰りについては、「JA30HTのエンジン2000時間点検整備準備金」600万円、

「霞目格納庫老朽化対策費用備準備資金」400万円、「減価償却引当資産」50万円の取り崩しで今後の費用を賄うこととする。

(2) JA2178の運用及び運航については、阿武隈川増水時の避難先として、仙台空港及び福島スカイパークを設定するとともに、堤防外への場所を確保して対応することとする。

また、この機体の稼働率を上げるよう取り組むこととする。

(3) JA30HTの出資者について名前と出資金の全てを把握しきれていないが、今後JA30HTをどのように運用するか、処分するかについて令和2年2月耐空証明が切れるまでに結論を出すよう検討していく。

第5回 理事会

1. 日時 令和元年12月21日(土) 17時00分～19時40分

2. 場所 角田事務所

3. 出席者 代表理事 木村義彦

理事 酒井忠政、斎藤岳志、滝川勉、山田昌宏、菅原寿

監事 片倉修

議事録署名人 代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、斎藤岳志、監事 片倉修

4. 議題とその結果

議事の前に木村代表理事より資料に基づき前回理事会以降の職務執行状況について報告された。

(1) 第1号議案 霞目からの撤退完了及び角田事務所の整備等について

木村代表理事より、霞目飛行場のグライダー格納庫撤去が終了し11月15日に三浦駐屯地司令に挨拶し解体が完了したことを報告。また、角田事務所北側へ設置したパイプハウスが完成したこと及び事務所東側の太田茂さんから借地予定の土地の地目変更登記が終わったことを報告。一連の費用については別紙により説明し、全員異議なく承認された。

(2) 第2号議案 JA30HTの処遇について

木村代表理事より、JMGCに一時預けしているJA30HTを譲渡する件について、年間の維持費や曳航パイロットの養成、定置場所等の問題から協会で維持することは困難と判断したこと。また、故大友宏之氏が個人でJA30HTを購入した時の寄付者から異論がないこと等からJMGCに譲渡を考えている旨の説明が行われ、その賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

5. 報告事項

(1) 角田滑空場で使用が認められた個人所有機の運航について

所有者が第三者に機体を使用させることの是非や許諾使用者の範囲等の規約整備案を斎藤理事と滝川理事が作成し理事会に諮ることとする。

なお、個人所有機の角田滑空場での運航はオーナー会員が前提となることを確認した。

(2) 会員搭乗料、機体持込料は今期及び来期は据え置くことについて

基本財産1000万円を残して、霞目からの撤退及び角田へパイプハウスを設置する等の一連の事業を終えたことから通常の活動は維持できると考え、搭乗料及び機体持込料を来期は据え置くこととする。

(3) 太田茂さんの所有地について

太田茂さんが地目変更登記を12月12日法務局大河原支所に提出した。短期譲渡の5年経過後に300万円で協会に売却したいとの意向を示された。

(4) ウィンチオペレーターの処遇の明確化について

2017年に取り決めた文書を一部改定し、今後は添付資料の「ウィンチ曳航による活動について」に基づき実施する。

第6回 理事会

1. 日時 令和2年2月8日(土) 17時50分～20時50分
2. 場所 角田事務所
3. 出席者 代表理事 木村義彦
理事 酒井忠政、斎藤岳志、滝川勉、山田昌宏、菅原寿
監事 片倉修、神谷文夫

議事録署名人 代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、斎藤岳志、監事 片倉修、神谷文夫

4. 議題とその結果

議事の前に木村代表理事より資料に基づき前回理事会以降の職務執行状況について報告された。

(1) 第1号議案 令和元年度補正予算(案)承認について

木村代表理事より、令和元年度補正予算(案)について説明があり、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(2) 第2号議案 令和2年度事業計画(案)承認について

斎藤理事より、資料に基づき令和2年度事業計画(案)について説明があり、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(3) 第3号議案 令和2年度収支予算(案)承認について

木村代表理事より、資料に基づき令和2年度収支予算(案)について説明があり、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(4) 第4号議案 新入会員の承認について

西川弘大さん及び淵野幸輔さんから入会申込があり、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

5. 報告事項

(1) トラクターの修理、中古購入について

宮城ヤンマーに依頼した修理代は約8万円で、新たに中古トラクターを20万円+整備費で購入する。老朽化したイセキトラクターは処分し、草刈りに使用可能なトラクターは3台となる。

(2) 東北大ウィンチの載せ替えについて

中型トラックを探しており、載せ替えは大町モータースへ依頼してある。

ウィンチ曳航料について原価計算したところ、令和2年度から値下げする。

(3) 経理システム導入について

ガロアマネージメントの経理システムを使用しているが、不具合が出てメンテナンスできない状態にある。協会の経理に適應できるシステムを数社に問い合わせしていたが「ミロク情報サービス」が適切と考え、別紙見積書による内容で導入する。

以上

尚、補足すべき重要な事項はないので附属明細書は作成しておりません。